

お腹をぶつけた・目をぶつけた 手足・擦り傷・切り傷

お腹をぶつけた

- 痛みが数時間たっても続いている
- 食欲がなくなっている
- 顔色が悪くなっている

(黄)

- ぶつかった直後から、またはぶつかってから2時間以内に何回も吐いている

(赤)

目をぶつけた

- 痛みも落ち着いている

(緑)

- 痛みが数時間たっても続いている
- 目の充血や出血がある
- 目が見えにくくなっている

(黄)

手足

- 手や足をぶつけて、爪が剥がれてきている、爪の中に内出血がある

(緑)

- 手や腕を引っ張った後から腕を痛がり、動かさない

(黄)

擦り傷 切り傷

- 切り傷を圧迫して止血できるが、傷が深く、皮下脂肪が見えている
- 切り傷を圧迫しても出血が止まらない
- 擦り傷を水で洗っても砂等の異物がたくさん残っている

(黄)

お腹をぶつけたとき

痛みもすぐに落ち着き、食欲があればそのまま様子を見ましょう。ぶつけた直後や、1、2時間以内に吐き始めた時は内臓打撲の可能性があるので、救急車を呼ぶようにしてください。

目をぶつけたとき

軽度の打撲であれば冷やして安静にして様子を見ましょう。小さいボールが強く当たったり、目が開いた状態で目に物がぶつかったときは注意が必要です。目の中は表面からはわかりにくいので、眼科の救急を受診するようにしてください。

腕を引っ張った後から痛がっているとき

小さい子どもの腕や手を強く引っ張った後で腕を痛がり、特に腕を上げるのを嫌がる場合があります。肘内障ひざしづみといって肘の腱がずれたためにおこるのですが、早めに整復することで痛みも落ち着きます。時間が経過すると整復した後もしばらく痛みが続くことがありますので、早めに受診するようにしてください。

新しい傷の治療法

手足等に切り傷やかすり傷ができたときに、「消毒→ガーゼのついた絆創膏を使用→傷を乾かしてかさぶたができるのを待つ」このような処置を行っていませんか？現在の傷の治療法は全く正反対の治療を行っており、傷をきれいに早く治すことができます。

- 1) 消毒で傷の化膿を防ぐことはできません。かえって消毒することで傷の治癒を遅くする原因になってしまいますので消毒はしないでください。まずは傷に入った砂等の異物をしっかりと水道水で洗い流すことから始めましょう。異物が多くて取れないときには病院を受診して取ってもらうようにしてください。
- 2) しっかりと水道水で洗ったら、傷から出てくる滲出液しんしゅつえきを閉じ込めるようにします(これを湿潤療法といいます)。その滲出液の中には皮膚の再生を促す大切な物がたくさんつまっています。潤った状態を保つことで傷をきれいに早く治すことができます。一般的なガーゼのついた絆創膏はその液を吸い取って、乾燥させてしまいます。傷を乾燥させてかさぶたができると皮膚の再生が遅くなってしまい、傷が治りにくく、またきれいに治りにくくなってしまいます。傷を潤った状態に閉じ込めるために、病院では傷保護剤のシートを使用しますが、それを家庭用に市販された物がキズパワーパッドです。
- 3) キズパワーパッドなどの傷保護剤は、特に傷が化膿しているような時には1日1回は新しい物に取り替えて、傷を水道水で洗うようにしてください。広範囲の場合には家庭用のラップを使用することもできます。多くの傷は1週間以内に治ってきます。

(緑)

日中に
かかりつけ医へ

(黄)

夜間でも
相談または受診

(赤)

救急車を呼ぶ